令和3年度

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標　　　　　　　　　　　　　　　　学力向上検討委員会構成

|  |
| --- |
| ○主体的に学習に取り組み，自分の考えを表現できる授業の実践○伝え合い，認め合い，学び合う授業の実践 |

|  |  |
| --- | --- |
| 学力向上推進員桑村　美香 | 委員　　校長　谷口　睦子　　教頭　塩田　史彦教務主任　山本　　栄研修主任・特別支援教育コーディネーター桑村　美香 |

橘小学校

「学力向上実行プラン」

校長

|  |
| --- |
| 谷口　睦子 |

【各校の取組状況の把握について】

|  |
| --- |
| 研究授業や研究会の実施，教員自身の振り返りカード等で取組状況の把握を行う。 |

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み，学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒の状況（○よさ・●課題） | 具体的目標（目指す子供の姿） | 具体的方策（教員の取組） | 中間期の見直し | 達成状況（評価） | 次年度における改善事項 |
| ○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いている児童が多い。●語彙が少なく，文法に関する知識，文章を読み取る力や要点をまとめて書く力に課題がある。 | ・進んで学習に取り組み，基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。・身に付けた知識・技能を他の学習の場面で活用することができる。 | ・児童が興味を持ち，楽しみながら取り組むことができるように，タブレット等のICT機器を効果的に使う。・視写・読書・新聞を読む活動を朝の活動に位置づけ，いろいろな文に接する機会を増やす。・読書や体験活動後に感想や自分の考えを書く活動を取り入れる。 | ・タブレットを使った文字入力やドリル学習の時間を確保し，操作のスキルを高めるとともに知識・技能の習得を図る。・新聞記事や読書の感想を書く，発表し合う等で主体的に読む態度を養う。 | ・デジタル教科書の活用や児童のタブレット操作のスキル向上，ドリル学習により基礎学力が向上した。・新聞記事を読む，視写する活動を継続することで，文章の読み取る力に高まりがみられた。・自分の考えを書く機会を確保することで，文章表現力が身に付いてきた。　 | ・ＩＣＴ活用についての共通理解と協力により，同一歩調で効果的な活用を図る。・自分の考えを表現するための語彙力を向上できる取組を工夫する。　 |

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒の状況（○よさ・●課題） | 具体的目標（目指す子供の姿） | 具体的方策（教員の取組） | 中間期の見直し | 達成状況（評価） | 次年度における改善事項 |
| ○教師や友達の意見をしっかりと聞くことができる児童が多い。●自分の考えをまとめたり，文章に表現したりすることを苦手としている | ・様々な場面で，自分の考えを進んで話したり書いたりできる。・考えを伝え合う活動を通し，自分の考えや全体の考えを発展させ，表現することができる。 | ・授業の中でホワイトボードやタブレットを効果的に活用した発表や話し合い活動をさせる。・いろいろな表現方法を知らせ，相手意識をもって表現する経験をさせる。・うなずいて聴く，友達の発言を受けて考えを言うなど学び合いにつながるモデルを提示したり，できている児童を称賛したりする。 | ・授業の中でＭｅｔａｍｏｊｉを活用して自分の考えを表現したり交流したりする機会を増やす。 | ・ホワイトボードやタブレットを使った発表や話合いで，児童が互いの考えのよさに気付き，表現の意欲が高まった。・ノート指導の充実により，進んで書く態度やはやくまとめて書く力が向上した。・話し合う活動が楽しいと感じる児童がアンケートでは１００％になった。 | ・自分の考えを分かりやすく伝えるために，表現する力を高めて話合い活動の活性化を図り，個人や集団の考えを深められるようにする。 |

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 児童生徒の状況（○よさ・●課題） | 具体的目標（目指す子供の姿） | 具体的方策（教員の取組） | 中間期の見直し | 達成状況（評価） | 次年度における改善事項 |
| ○与えられた課題に対して，素直に取り組むことができる。●学習に対する取り組みが受動的であり，自分のめあて（目標）を見つけたり，自己決定したりすることに課題がある。 | ・授業に主体的に取り組み，自分なりの充実感や達成感を味わっている。・自分の目標をもって家庭学習や家庭読書に進んで取り組んでいる。 | ・学習のめあてと振り返りを授業の中に位置づける。振り返りの場面を工夫して児童の成功体験につなげる。・家庭読書や自主勉強の成果が見てわかるよう工夫する。 | ・児童の言葉から学習のめあてを設定できるようにする。・自主勉強や家庭読書の取り組ませ方と評価を工夫し，意欲の継続を図る。 | ・学習のめあては児童が自分たちで考えられるようになり，見通しをもって学習できた。振り返りも習慣化できた。・自主勉強に目標をもってコツコツ取り組む児童が増えた。 | ・児童が，自己の課題を見つけ，目標をもって自主的に学校や家庭での学習に取り組めるようにするための手だてを工夫する。 |

令和3年度　学力向上ロードマップ

3月　　　　　　4月　　　　　　　　　　　　　5月　　　　　　　　　　6月　　　　　　　7月　　　　　　　　　8月　　　　　　　　　　９月　　　　　　　10月　　　　　　　　　11月　　　　　　　　12月　　　　　　　１月　　　　　　　　　　2月　　　　　　　　　　　　　3月　　　　　　　　　4月

学習形態の工夫

研究テーマに

沿った取組

全国調査　５／２７実施

ステップアップテスト５／２７

確認プリント等を活用した

複数回のＰＤＣＡサイクルの実践

授業研究会

校内研修

授業づくり

研修会

学校評価等のデータによる取組の検証

前年度の実績を踏まえた新体制での実行プラン作成

次年度に向けた情報整理・構想立案

分析・検証結果としてプランの公表

授業改善の立案

プランの見直し

調査結果の分析・取組の検証

全国調査

結果公表

校内研修

授業研究会

校内研修

学校運営協議会・

学校評議委員会へ報告

発問・板書・ノート指導

各研究部会研修

★学力向上実行プラン作成

　・校内で共通理解

　・ＰＴＡ総会で周知

　・学校ＨＰに掲載

学力向上

検討委員会

次年度の取組に向けた情報整理・素案の作成

ステップアップテスト

結果公表

学校運営協議会・

学校評議委員会へ報告

学校評価のアンケート実施

校内研修

結果

検証

授業研究会

授業研究会

授業研究会

取組の検証

研究発表　　　報告